地域の皆さまの健康をサポートいたします

院外広報誌

札幌清田病院だより

No.2
2014.4
発行
医療法人
札幌清田病院

札幌清田病院 消化器病センター

最新の診断技術と手術手技による内視鏡治療を実現

医療法人
札幌清田病院
理　念

良質な専門医療を提供して地域社会に貢献する。
個別性と継続性を尊重した思いやりのある医療をめざす。

最新の診断技術と手術手技による内視鏡治療を実現

札幌清田病院
消化器病センター

札幌清田病院では開業以来、消化器疾患に関わる診断と治療に力を入れてきましたが、新病院建設に伴い3階に消化器病センターを設けました。同センターは消化器内科と消化器外科で構成され、消化器内科は消化器疾患の診断および内科的治療、消化器外科は手術を担当し、密接な協力体制下で高いレベルの診断・治療を行っています。

内科と外科が連携し症例に応じた治療法を追究しています

消化器病センターで取り扱う疾患は、大きく分類すると「胃腸疾患」「肝臓疾患」「胆嚢膵臓疾患」です。これらの疾患は内科と外科、両方の治療が必要となることも多いことから、両科の医師の連携が重要です。

消化器内科医による内視鏡を使ったがん病変の切除「内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）」や、消化器外科医によるお腹に小さな穴を開けて行う「腹腔鏡下手術」など新しい手技を積極的に導入しつつ、進行がんの病変部を徹底的に切除する開腹手術など、最新手技を駆使し、治る可能性を追求しています。さらに、効果的な抗がん剤治療を組み合わせることで、治癒率の向上、生存率の延長などを目指します。

当院では消化器内科医4人、消化器外科医3人（非常勤1人含む）、腫瘍内科や血液内科、循環器内科、リハビリテーション科などの専門医が一堂に会する「手術カンファレンス」と「机上回診」を毎週行い、診療科を越えた体制で一人ひとりの患者さんの治療方針を検討しています。

消化器内科

内科・消化器内科・腫瘍内科

村松 博士 副院長
むらまつ ひろひと

早期がんは内視鏡で治癒切除

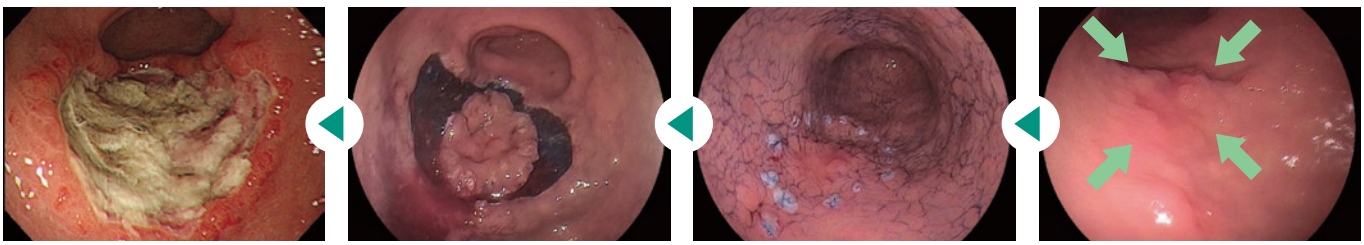
消化器内科の主な役割は、消化器がんの早期発見と早期治療です。新病院では内視鏡検査室を2室から3室に増やし、リカバリー室（3床＋3リクライニングチェア）を新設しました。鎮静剤を使う痛みのない内視鏡検査を希望する患者さんが増えていることから、検査後は静かなリカバリー室でゆっくりと過ごしていただいています。

お腹が痛いとき、診断に必要な胃の内視鏡検査・腹部エコー・CTは、朝食をとっていなければ当日でも可能です。内視鏡を使った胃や大腸の検査数は年間約4000例にも及び、その診断力には自信があります。

早期の胃がんや大腸がんは、開腹せずに内視鏡治療での切除が可能です。また、胆石が胆嚢と胆管の両方にあるときには、胆管の石を内科（内視鏡）で除去したあと、胆嚢を外科（腹腔鏡）で切除しています。常に新しい手技を導入・更新し、良好な治療成績を収めています。

内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）の手順　消化器内科最新治療

胃幽門部の約15㎜大の早期胃がんを治癒切除しました



病変切除部分は潰瘍となりますが徐々にふさがります

病変部の粘膜だけを切開・剥離します

病変の外側に印をつけます

矢印部分が病変

札幌清田病院では 診断・治療・回復までシームレスな体制で 一貫した医療を提供しています

リハビリテーション室

外来化学療法室

透視室

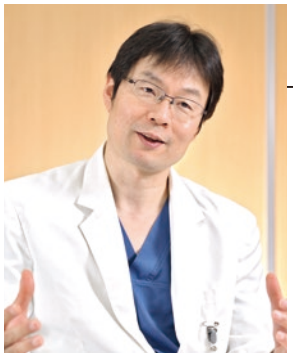
回　復 ◀ 治　療 ◀ 診　断

個室

手術室

内視鏡室

消化器外科



外科・消化器外科・内視鏡外科・肛門外科

矢野 智之 副院長
（やの ともゆき）

腹腔鏡下手術で患者さんの負担を軽減

消化器外科は、胃がんや大腸がんなどの消化管がんや膵がん・胆道がん・肝がんなどの肝胆膵領域の悪性疾患に対する外科治療を中心とし、消化器内科と密接に連携して症例に応じた最善の治療を提供しています。

腹腔鏡下手術は、患者さんの体の負担を軽減でき、整容性に優れた治療法です。腹部に小さな穴を数カ所あけ、そこから炭酸ガスを腹腔内に送気して腹部を膨らませ、専用の内視鏡や手術器具を入れ、モニターに映し出された患部を見ながら手術を行います。また、道内で早い時期に導入したへそ部分だけを2～2・5㎝切開する単孔式腹腔鏡下手術も、胆石症・鼠径ヘルニア（脱腸）・大腸がんを中心に４００例以上施行。手術の傷はへそに隠れて分からなくなり、好評をいただいています。

一人ひとりの患者さんの症例に応じた質の高い最新の治療を提供しています。

整容性に優れた腹腔鏡下手術も導入　消化器外科最新治療

患者さん一人ひとりの病態に応じた手術方法を選択します

開腹手術

傷は10～15㎝

腹腔鏡下手術

小さな傷が４カ所

単孔式

傷はへそ部分の１カ所のみ

単孔式腹腔鏡下手術の様子

2014年度 地域健康セミナーのご案内

皆さまのご参加をお待ちしております

札幌清田病院では、下記の日程で「地域健康セミナー」を開催いたします

開催日	テーマ	講師
4月18日（金）	胃カメラについて～検査方法や最新の内視鏡について～	消化器内科 医長 宮島 治也
5月22日（木）	緩和ケア病棟（ホスピス）ってどんなところ？	緩和ケア病棟 看護主任 田熊 裕美 医療相談室 ソーシャルワーカー 福澤 公美
6月17日（火）	体重・血圧・検査データの見方　塩分の摂り方について	糖尿病委員会、糖尿病療養指導士、管理栄養士
7月10日（木）	快便な生活のために～下痢と便秘のお話～	消化器内科 副院長 村松 博士
8月21日（木）	訪問看護ってなあに？ ～家で療養されている方、そのご家族へのお手伝い～	訪問看護ステーションきよた 所長 間村 麻夕子
9月16日（火）	糖尿病のためのフットケア	糖尿病委員会、担当看護師
10月23日（木）	生活習慣病を予防しよう～効果的なウォーキングについて～	リハビリテーション課 理学療法士 山田 文之
11月18日（火）	糖尿病について	糖尿病委員会、医師、管理栄養士
1月23日（金）	わかりやすい緩和ケアのお話	内科・緩和ケア内科 理事長 西里 卓次
2月17日（火）	糖尿病のお薬と運動療法について	糖尿病委員会、リハビリテーション課、薬剤師

※日程、テーマは都合により変更することがございます。事前に札幌清田病院ホームページ、病院内掲示やお電話等でご確認ください。

会場 札幌清田病院２階会議室　時間 14：30 ～ 15：30

参加方法 直接会場へお越しください【申込不要】

お問い合わせ先
医療法人 札幌清田病院
地域医療連携室
電話：011-883-6114

3月14日開催セミナーの様子

私たち札幌清田病院は医療による地域貢献に努めます

【基本方針】

1. 消化器病とがんの専門病院として診断から治療まで一貫した最良の医療を提供する。緩和ケア、在宅ケアを重視するとともに疾病の予防にも努力する。
2. 患者さんと家族の意志を尊重し、適切な情報提供によって患者さんを中心としたチーム医療の実現をめざす。
3. 地域の他医療機関と連携し、地域完結型の医療を志向し、地域社会の健康増進に貢献する。
4. 医療の質向上のため、職員の教育研修に努め、安全な医療サービスの提供体制を確立する。

【患者さんと家族の権利】

私たちは、当院に来院される患者さんと家族の方の、次の権利を尊重します。

1. 基本的人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか受けないかを決定する権利
5. 健康であるために情報を求める権利

札幌清田病院への交通アクセス

●中央バス

JR 札幌駅 発	（80）月寒本線 （85）（86）清田団地線 （88）真栄団地線	「清田団地入口」停下車
中央バス 札幌ターミナル 発	（97）千歳線・広島線 （96）柏葉台団地線 （113）大曲光線	
地下鉄南北線 平岸駅 発	（平 50）平岸線	
地下鉄東豊線 福住駅 発	（福 80）月寒本線 （福 85・86）清田団地線 （福 87）有明線 （福 88）真栄団地線 （福 96・97）柏葉台団地線 （福 113）大曲光線	
地下鉄東西線 大谷地駅 発	（大 87）有明線 （大 88）真栄団地線	「真栄」停下車

外来診療のご案内

診療科目	受付時間	8:30	12:00	17:00
内科・消化器内科・腫瘍内科・血液内科・リウマチ科	月～金	■	■	■
	土	■	■	
循環器内科	火・水・金	■	■	
呼吸器内科	第１・第３水		■	■
	第１金		■	■
外科・消化器外科・肛門外科・内視鏡外科	月～土	■	■	

※緩和ケア内科については、お問い合わせください

【休診日】日曜日・祝日

※夜間・休日・時間外の急患は当直医師により随時診療

【売店営業時間】
平日　8：45 ～ 17：30
土曜日 8：45 ～ 15：00

Quality of Life
医療法人 札幌清田病院　ホームページ http://kiyota-hp.or.jp/
〒004-0831 札幌市清田区真栄１条１丁目１番１号　TEL：011-883-6111　FAX：011-882-7477